

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第2週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第2週分 1月8日～1月14日（1月17日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：379人、定点医療機関当たり7.90人、新規患者推計値※：1,789人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

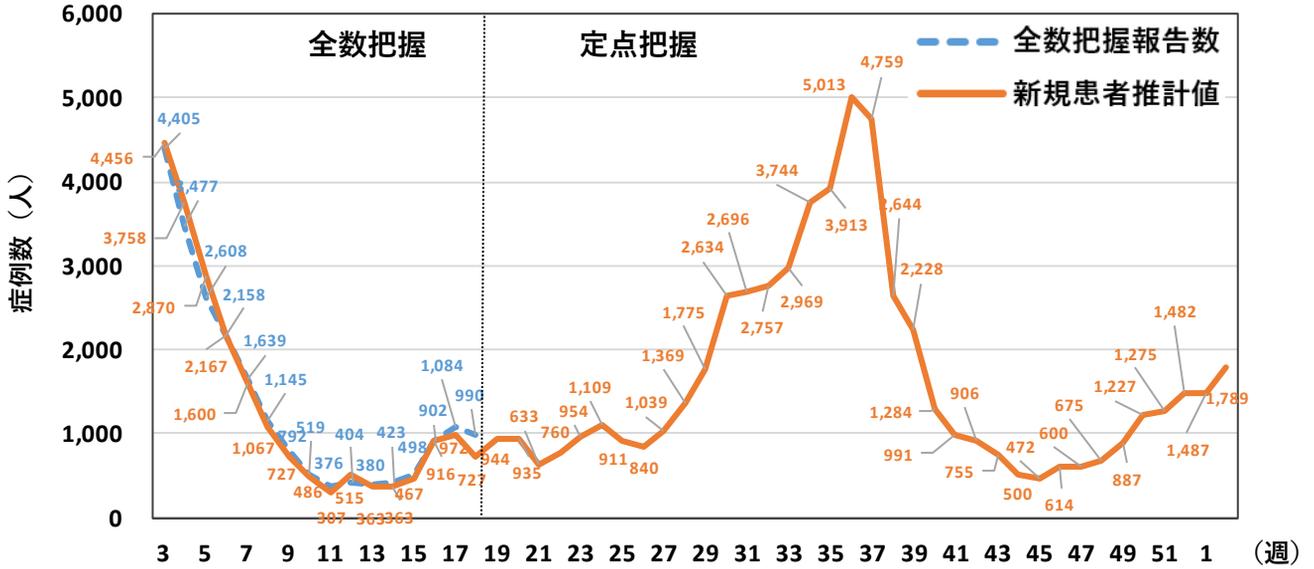


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

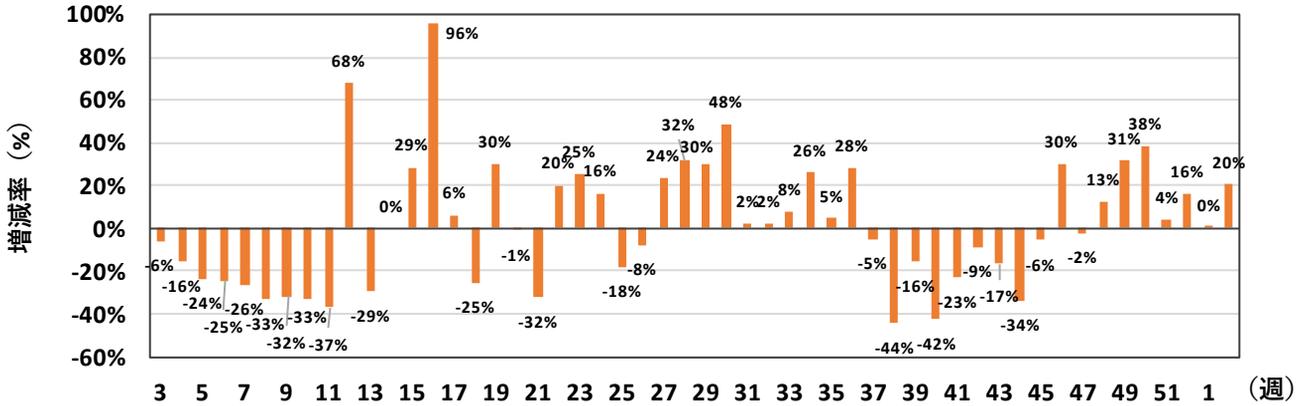


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第2週）

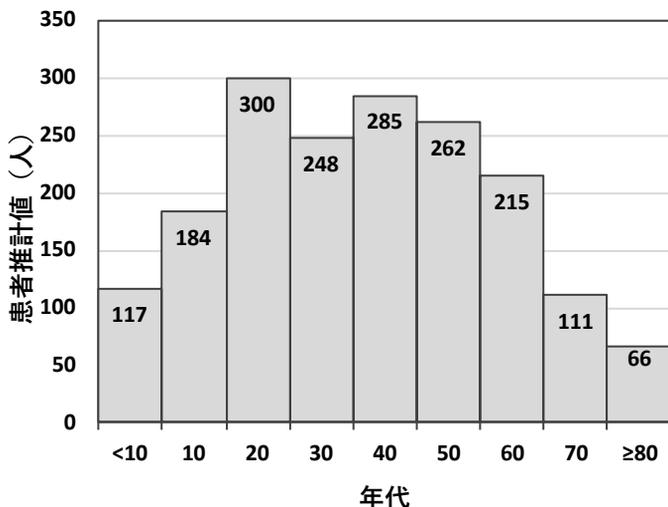


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第2週）

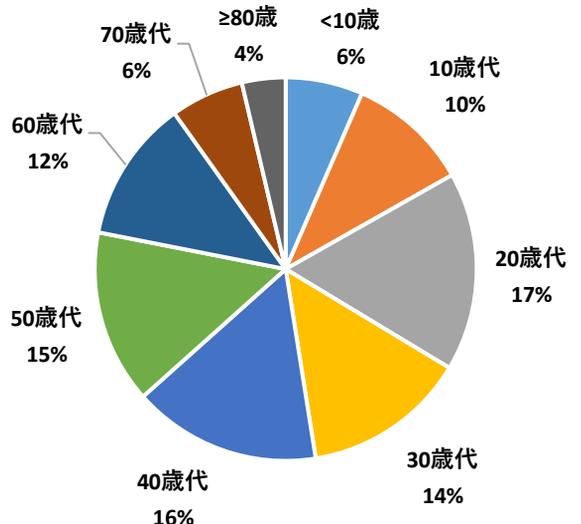


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

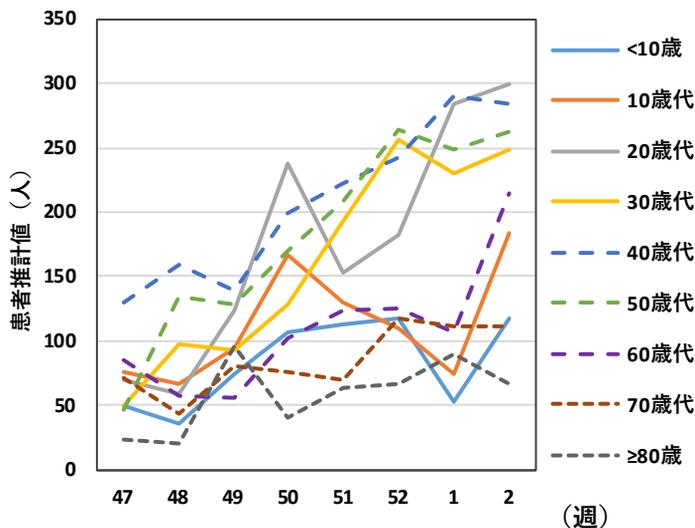
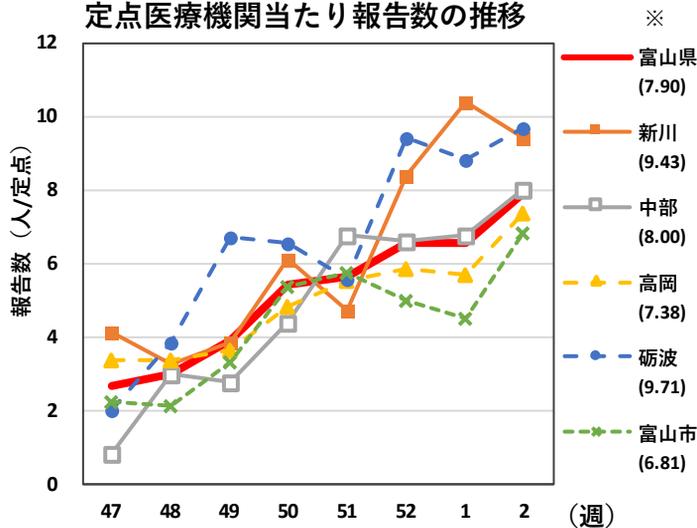
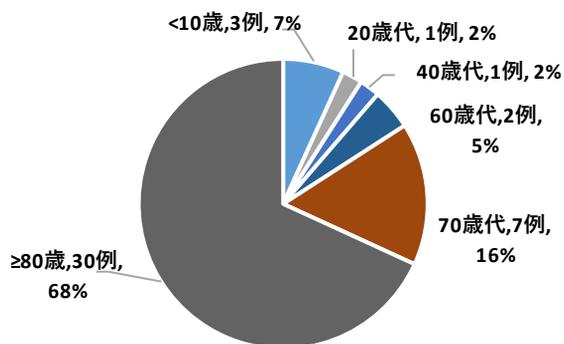


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



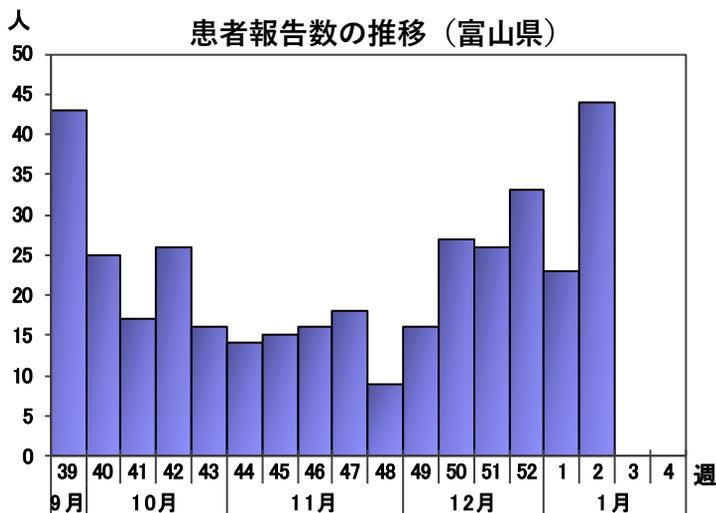
※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第2週、44例）



第2週（1/8～1/14）時点での所見と評価

図8.COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）



- 第2週の定点医療機関当たり報告数は7.90人、新規患者推計値は1,789人であった。前週推計値（第1週、1,487人）から20%増加した（図1、2）。
- 第2週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。20歳代が最も多く17%を占め、次いで40歳代（16%）、50歳代（15%）の順であった。60歳以上の割合は22%で先週（20%）とほぼ横ばいであった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。10歳未満、10歳代、60歳代で増加がみられ、その他の年齢は横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で7.90人/定点であり、先週（6.56）から増加した。新川管内以外のすべての管内で先週から増加した。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第2週に44例の入院報告があり、先週（23例）から増加した。年代分布は、10歳未満が3例、20歳代が1例、40歳代が1例、60歳代が2例、70歳代が7例、80歳以上が30例で、70歳以上が84%を占めた。（図7、8）。
- COVID-19の定点当たり報告数は、2023年45週以降、緩やかに、継続的に増加しており、今後の感染動向を注視する必要がある。